

山三位栢下朝臣人磨

大春日同祖天足茂國禪人命之信也敬

在皇御宇依有家門栢杓為栢下

胡臣氏天智王武持統文武元明元正聖武

茅泚時以十二年以人也後石見國別妻上

采古万葉集云天寶元年紀伊國行幸時

智泚車作歌

かめくさあうまうらりあきり小
あかきれゆく舟をさるるにやふ



かめくさあうさうさうのあきりふ
しあかればゆく舟をさうにせふ



淡路掾元河内躬恒

宇多院第四皇子敦慶親王男

母伴勢守藤原继蔭女号中務

近喜之山人

いけこも春乃ひるるわがく

まゝみよの山を雪もか

中納言後三位兼行春宮大夫大内家持
 大納言兼入男鎮守府將軍



中納言後三位兼行春宮大夫大内家持
 大納言兼入男鎮守府將軍
 中納言後三位兼行春宮大夫大内家持
 大納言兼入男鎮守府將軍



中納言從三位兼行春宮大夫大伴家持

大納言兼人男鎮守府將軍

たすけいんさくさくねきふさくしん
さしりしむけいしをりまのあさひふさ
たすけいんさくさくねきふさくしん



藏人頭右近衛權中將從四位上在原朝臣業平

平城天皇孫彈正乎阿保親王五男女仔百

親王桓武天皇弟八女

代の中にもさくはくしんさくしん勢

さくしんさくしんさくしんさくしん

藏人頭右近衛權中將從四位上在原朝臣業平

平城天皇孫彈正平阿保親王五男女仔二男

親王桓武天皇弟の女

代の中にまゝとあつたが、その勢を
さへはらふ方があるか。



律師志性

良岑宗貞二男宗白醜嗣二代人

いふまでもなく、いふまでもなく、いふまでもなく

あり、何をいふまでもなく、いふまでもなく

あり何き此月をさちいふに
あり何き此月をさちいふに



藤丸大夫

持統文武漸時人藤丸大夫從五位上

者弓削皇子異名之弓削皇子

天武天皇皇子大江皇女也

松尾川
松尾川
松尾川

昔弓削皇子異名弓削皇子

天武天皇皇子大江皇女也

杉木山寺此寺門前山名曰弓削山
杉木川之流也



中納言後三位兼行右衛門督藤原重輔

右近兼中將利基六男寛平御時人号地

中納言

人乃れやれ〜方えや見小あ〜孫とて
あ我孫か〜らに〜たぬ〜れ

中納言

今乃れやれしうえや見えおしつゆとも
あはれおしうらにまよひたぬちくれ



権中納言従三位藤原敦忠

右大臣内平三男母左衛門佐藤原棟梁女

延喜御時人や号奉院中納言

あはれえやれのおちれしうらふらつゆれま

むのしんをばねをけりしゆり

権中納言後三位藤原敦忠

右大臣平三男母左衛門佐藤原棟梁女

延喜御時人号平院中納言

あひえてはのちたふらふれ
むのいよのをたをほり



後位下守右大臣源玄忠

大藏卿源因記 光孝天皇
弟六海氏 二男大宰大貳

延喜御時人号滋野丹弁

川やてやまらるる川

いよ一くさ乃き海引し

紅守延喜御時人号滋野升弁

引やてやまらるる川
いま一くさるる海引一はふ



齊宮女御徽子

二品式部卿皇明親王女女真信公女
平六年九月成業官年八歳三忘天曆
三年女御年廿二案仍号齊宮女御
又号永香殿女御

これねおと神の松風

いられ乃ねりいん免け

いづれ乃たよりいづれ乃たより
いづれ乃たよりいづれ乃たより
いづれ乃たよりいづれ乃たより



五位下行左京大夫源朝臣宗干

光孝天皇孫南院式部卿是忠親王男

正四位下行左京大夫源朝臣宗干

光孝天皇孫南院式部卿是忠親王男

寛平六年改姓為臣

宗干のちなる松乃をり、春之れ世
いよのこし、乃を西あり、宗干



正四位上行右兵衛督藤原敏行

藏人預者と御權中將兼春官權亮

平八年四月依病不仕輝勢人以能事

人母刑部心正四位下紀名唐女有常妹

藏人預者と御權中將兼春宮權亮
平八年四月依病歿仕輝勢人以能事
人や母刑部心三位下紀名唐女有常妹
清和陽成光孝宇多醜嗣五代人
あまゝとねと筑ふさやかふえとねと
風のたふさうにたふれぬ



及五位上行紀任守藤原朝清和
中納言藤原兼輔二男延喜天曆入三曆
九年をこと執事

神のひさふ志あつる野色に花は松
ひさやちりしはもをまゝ海

及五位上行紀保守藤原朝小治

中納言藤原兼輝二男延喜天曆人三曆
九年とことゆかす

祢のひしふ志あつる野色乃毛先六松
ひくやうらふれもさをまゝ海



正六位上行下總檢大樞藤原興風

参議瀛成卿曾孫道成男延喜御時人
字院藤太彈琴之御伴結人也

まをれをかも志る人ふ勢むるはあの

參議濱成卿曾孫道成男延喜御時人
字院藤太彈琴之御伴結人也

まねをたかき人ふ勢むいふは
松もいふはむらさきもいふ



延五位下少内記坂上是則

加賀介御公は兼延喜御時人

是のしむらぎは雪のしむらぎ

あまのしむらぎはあまのしむらぎ

後五位下 大内記 坂上 是則

加賀介 藤原 公 藤原 延喜 御時人

是より 此より 雪の

あつた なる なる なる



小大君

三條院 東宮時女 藏人 左と 是也 或云 醜

翫 天皇孫 三品 或云 是 皇親 王女 母 貞信

出 女 一条院 御時人

いよ なる なる なる なる なる

あつた なる なる なる なる

公女一条院御人

いよゝゝいよゝゝいよゝゝいよゝゝいよゝゝ
あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ



祭主正六位下行神祇大削大中臣能宣

祭主祢祇大削後五位下賴基七子

村上冬氣園韮美山一條五代人や

千々路よかかたれり松よふふふふふ

村上天氣圖點華山一條五代人也
 千々勤まてかたれり松とくふふの
 きるふしりてふ方河よるん



從五位上行護河守平朝臣興盛

光孝天皇後一品或部心是忠親王曾孫
 從五位上興我王孫是也上統前守鳥羽
 二男母宮道民朱雀村上天氣圖點華山
 一條五代人也

かろふれわつ身ふ川ひるさつ
 けろむむとすおふいん

從五位上行護河守平朝臣興盛

光孝天皇後一品或部心是忠親王曾孫

從五位上興我王孫從五位上統前守葛城

二男母宮道氏朱雀材上冷泉園藝華山

一條六代人

かろふれおわつ身ふ川のささりつとを
けろりむさふおのふいさしん

